

2026年07月03日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【化学】他社牽制力ランキング 2025

トップ3は富士フイルム、三菱ケミカル、花王

弊社はこのほど「化学業界」の特許を対象に、2025年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別 ※に集計した「化学業界 他社牽制力ランキング 2025」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

結果、2025年に最も引用された企業は、1位 **富士フイルム**、2位 **三菱ケミカル**、3位 **花王**となりました。

【化学業界 他社牽制力ランキング 2025 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	富士フイルム	2,527
2位	三菱ケミカル	1,533
3位	花王	1,208
4位	レゾナック	1,117
5位	積水化学工業	880
6位	旭化成	836
7位	日東電工	793
8位	住友化学	751
9位	信越化学工業	647
10位	カネカ	571

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2025年12月までに公開された全特許のうち、2025年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2026年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **富士フイルム**の最も引用された特許は「配向性を有さない基板上に複合酸化物等の無機結晶性配向膜を成膜する方法」に関する技術で、半導体エネルギー研究所などの計6件の審査過程で引用されています。このほかに「高温高湿下で高い耐久性を示すことができる偏光板」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、日東電工などの計4件の拒絶理由として引用されています。

2025年に富士フイルムの特許による影響を受けた企業としてはキヤノン、コニカミノルタ、住友化学などが挙げられます。

2位 **三菱ケミカル**の最も引用された特許は「離型性および耐加水分解性に優れた樹脂組成物」に関する技術で、東洋製罐などの計6件の審査過程で引用されています。このほか「汎用的な積層ポリエステルフィルムのリサイクルシステム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、共和レザーなどの計5件の拒絶理由として引用されています。

2025年に三菱ケミカルの特許による影響を受けた企業としては日東電工、大日本印刷、旭化成などが挙げられます。

3位 **花王**の最も引用された特許は「洗浄時や濯ぎ時のぬるつき等が改善された、水切れ性に優れる液体洗浄剤組成物」に関する技術で、PROCTER & GAMBLE (US) の計3件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2025年に花王の特許による影響を受けた企業としては資生堂、ユニ・チャーム、PROCTER & GAMBLEなどが挙げられます。

4位 **レゾナック**は「絶縁膜を用いて半導体チップの三次元実装時の接合不良を低減する方法」、5位 **積水化学工業**は「セルが熱暴走した際に膨張・発泡・硬化で隣接セルへの熱伝導を抑制するシート」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【化学業界 他社牽制力ランキング 2025 データ】

- ▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※
(※データ一式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)
 - ・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング
 - ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応
- ▶価格：50,000円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：info@patentresult.co.jp